

日本国際飢餓対策機構(Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH) は、イエス・キリストの精神に基づいて活 動する非営利の民間海外協力団体 (NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、 教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓発などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation) の一員として、20ヵ国 60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中 南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。





当機構は4月14日と16日に熊本地方を 襲った震度7の地震とその後の余震の被災 者を救援するために、16日からスタッフを現 地に派遣、熊本と福岡で立ち上げられた支 援センターを通じて、パンの缶詰 (パン・ア キモト提供)約4千食などの食料配布を行い ました。また、支援センターの運営の応援や 被災者への物資配布などのためにスタッフ を追加派遣しました。今後も状況の変化を 見極めながら、被災された方々の支援にあ たります。

【募金方法】 ご協力をお願いします! ①郵便振替00170-9-68590 日本国際飢 餓対策機構「熊本地震」と明記。②ウエブ サイトからクレジットカードで募金ができま す。最新情報は、フェイスブック又はウエブ をご覧ください。(ハンガーゼロで検索)

2016年世界食料デーのテーマが決定 わたしから始める、世界が変わる 育てよう、希望の苗を

当機構の標語である「わたしか ら始める、世界が変わる」をメイン に、「育てよう、希望の苗を」をサ ブテーマに決定。

「苗」は自立開発支援活動の一

環である農業など、文字通りの "苗"を、そして未来の希望となる "子どもたち"を意味していま す。飢餓、貧困、また紛争や搾取 によって苦しむ子どもたちが、自 らの可能性を信じ希望を持って 生きることが出来るように、まず 「わたしたちから始めよう」とい う思いが込められています。

母の日に素敵な贈り物 ~やわらかコットンのスカ*ー*フ~



バングラデシュの地方に暮らす女性の生活 向上を目的としたフェアトレード商品です。 コットン100% サイズ55cm×168cm 税込3,000 円+ 送料800 円 (JIFH 会員は 送料無料)

(1)デザイン番号①~④を指定ください。 (2)JIFH会員は会員番号をお知らせください。 (3)プレゼント用には簡易ラッピングでお届 しますので申込時にお知らせください

【問合せ】キングダムビジネス 〒540-0026 大阪市中央区内本町1-4-12NPO ビル402 TEL:06-6755-4877 FAX:06-6755-4888 メール: customer@kbwin-win.org Web: キングダムビジネスで検索。

ハンガーゼロ サポーターを 大募集中!! 4千口突破! 4 | 1 | 2 | 0 🔳

今すぐ 各種支援の お申し込み ができます!!

に記入して、点線の 枠部分を切り取り八 ガキに貼って、下記 の大阪事務所宛に郵 送、又はこの頁をコ ピーして、ファクシ ミリで申し込みくだ 🔹 さい。確認のための 必要書類等を送らせ ■ ていただきます。

お電話でも申し込み ■ できます。各事務所 までおかけ下さい。

ハンガー	ゼロ・サ	ポーターとして協力します。
毎日() \square	(1日1000円)

■ □ チャイルド・サポーター(世界里親会)になり たいので説明書(申込書)を送ってください。

□ 海外スタッフ・サポーターとして協力します。

毎月()口(101,000円)

JIFHサポーターとして協力します。

毎月()口 (1口500円) □ 郵便自動引落し申込書を送って下さい。

●まず右の必要事項 ■ □ その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

	_	
_		_
		Т

男・女

FAX • 072-920-2155

■発 行 者 岩橋竜介

■発 行 所 一般財団法人 **日本国際飢餓対策機構**



フェイスブック

Webサイトアドレス http://www.jifh.org/ eメールアドレス general@jifh.org https://www.facebook.com/hungerzero

- ■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウエブサイトで
- ●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構
- ●他の金融機関からの自動振替●クレジット、デジタルコンビニ



* DHONGS





〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1

TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCC ビル 517 号室 TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6エマオ2階E TE (022)217-4611 FAX (022)217-6651 〒460-0012 名古屋市中区千代田 2-19-16 千代田ビル3F

TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132 〒 730-0036 広島市中区袋町4-8 CLC ブックス 2F TEL (082)546-9036 FAX (082)546-9037

〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米 202号 TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216 Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa USA

8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605 TE(510)568-4939 FAX(510)293-0940



わたしから始める、世界が変わる



いのちのパン

1 分間に17人(内12 人が子ども)

飢えのために生命を失っています。

1日に2万5,000人

1年間では約1,000万人が

日本国際飢餓対策機構 特命大使 近藤高史

「わずか数十秒の地震でこれほど人生が、町が変わって しまうのかと、今は心の整理がついていない…」

2016年4月14日夜と16日未明に熊本地方を襲った震 度7の地震を体験した方から、直接聞いた言葉です。日本 は世界で一番安全で安心して暮らせる国だと思っていた 私たちに、その 「安全・安心」 が実はもろいものであるこ とを、今回の地震は再び教えてくれました。今この時も、ま だ避難所や車内泊での生活を余儀なくされている方々を 思うと胸が痛みます。大切なご家族や住む家を失われた 皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

日本国際飢餓対策機構は、5年前の東日本大震災を教 訓に、4月16日早朝には被災地へ調査チームを派遣しまし た。いえ調査だけではなく、少しでも手元にある物資を届 けたくて熊本に急いだのです。以下は車を10時間運転し 被災地に辿り着いたスタッフたちが、到着直後に避難所を 訪ねた時の様子です。

16日午後9時、熊本市出水南の避難所で初めての物資 配布。「2日間ろくに食べていません」と話す若い男性。 「今日は饅頭1個だけ」とおばあさん。「お腹がすき過ぎ て痛い、きもち悪い」と小学生…。

役所の職員が涙ながらに「この2日間物資配布ができ

なくて、本当に申し訳ありません。集まった物資も全員に 行き渡るほどないのが現状です。少しでも平等に行き渡 るため、届いている物資の種類と数を言いますので、自分 が欲しい物の前に並んで下さい。足りない場合は抽選と します。… 皆さん、力を合わせて生き残りましょう!] と 訴えると、その言葉に涙を流す方々もいました。饅頭、団 子、水ボトル、コーンフレークそして私たちが持参したパ ンの缶詰も配布されました。

「今朝大阪から積んで来ました。皆さんの人数分だけ揃 えることができず申し訳ありません。しかしこの缶詰は、 1缶で2食分に匹敵する甘くて大きいふわふわのパンが 入っています。ぜひ皆さんで分け合って食べて下さい」そ う話すと、パンを手にしたおばあさんが「今日はまだ何も 食べておらんかったけん、本当にうれしい。大阪から持っ て来てくれて本当にありがとう」と言い、目に涙を浮かべ ておられました… (吉田スタッフ談)

一切れのパンは食べればなくなります。しかしその味を 一生忘れることのないパンもあります。私たちが届けた いのは、真に人々を立ち上がらせる、そうした「いのちのパ ン なのです。

「私はいのちのパンです」(聖書)

応援をお願 します

530人の子どもたちが元気に学べるように



くに相当する280万人が緊急の食 万人が生命の危機にさらされてい ます。 ると国連の3機関、FAO (国連食 糧農業機関)、ユニセフ(国連児 童基金)、WFP(世界食糧計画) が警鐘を鳴らしています。例年で あれば最も食料供給が安定するは ずの時期に飢餓が増加、これから 始まる乾季にはさらに飢餓状態が 深刻になるとみられています。

40年間の内戦後に独立

南スーダンは2011年に独立し た世界で最も新しい国ですが、現 在も紛争が絶えず南スーダン出身なかったりすることが多く、就学多い中、生徒全員に栄養のある学 の難民と国内避難民は、あわせて率も大きな問題です。 260万人といわれています。計40 年以上に及ぶ内戦の影響で、国土 続く他の地域から移ってきた子ど た教育効果をあげることができま

南スーダンは今、人口の25%近 全域で保健、教育、水供給などの もで生徒が増え、生徒数は530人 基本的な社会サービスや、電力、

援を2010年から行っています。

234kmの所にあり、住民の90%が 域です。また恒常的な飢餓に苦しを取っている状態です。 められ、そのために子どもが学校 に通うことができなかったり空腹 のまま登校するために十分に学べ

に膨れ上がりました。そのため 糧支援を必要とし、少なくとも4 道路などのインフラが不足してい 200人は野外で授業を行っていま す。子どもたちは木に打ちつけた JIFHはパートナー団体LIA 手作りの黒板の前で地面に座った (Life in Abundance) と協力し り、板を渡しただけのベンチに詰 てレイク州ルンベックにあるマブ め合って腰掛けたりして勉強して イ小学校の子どもたちへの給食支 いますが、雨や暑さでたびたび授 業が中断されるのが現状です。ま ルンベックは、首都ジュバから た現在5つある教室に入っている 330人の子どもたちも、机や椅子 1日1ドル以下で暮らしている地が足りないのでひざの上でノート

支援をお願いいたします

栄養不良に陥っている子どもが 校給食を提供することで学校に来 現在マブイ小学校は、紛争がる子どもを増やすことができ、ま す。そのためにもお皿やスプーン などの食事用具が全員に行き渡る ように、また3つの教室と備品、不 足している机や椅子なども必要が 満たされるよう、是非皆様のご協 力をお願いいたします。

> 募金は郵便振替で(8面に記載) 「南スーダン」と記入ください





▶寄付はインターネット検索で Tサイト [Tポイント/Tサイト] に ログイン。自分の保有ポイントを



http://tsite.jp/donation/index.pl



あなたの常識がひっくり返る「宝探し」の旅



ウガンダのナムトゥンバ地区で行われている、JIFHの活動現場を訪問し、現地の人々と の交流と学びをメインとしたスタディキャンプです。2014年のクリスマスに皆様からレン ガ募金のご協力をいただいたカサーレ小学校も訪問します。

素朴で元気な子どもたちとの楽しい交流タイム! 村をより良くしようと頑張っているお じいちゃんたちが案内してくれる村の自慢のあれこれ! 陽気なおばあちゃんたちが手取り 足取り教えてくれる村の伝統工芸体験! 不便だけど、思わず笑顔が溢れるアフリカンホス ピタリティー! あなたの常識がひっくり返る [宝探し]の旅です。

旅行代金:310.000円(相部屋利用※4名1室)6月3日 金までのお申し込みで、早割り305.000円

※旅行代金以外に以下の費用が別途必要になります。(2016年4月現在の料金。変動の可能性があります) 羽田使用料2,670円、現地空港税約6,470円、航空保険料約2,280円、燃油サーチャージ約20,000円。ビザ代金など。

お問い合わせ及び案内チラシの請求は、下記をご覧ください。 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室 電話03 (3518) 0781 日本国際飢餓対策機構 東京事務所

担当: 福地麻美/メール: mfukuchi@jifh.org

※このキャンプはJIFHが企画、旅行代理店のマイチケットが主催となります。 申込方法などについては案内チラシをご覧ください。チラシはメールで送信 することこともできますので、お気軽にご請求ください。



輝く笑顔で接してくれた子どもたちと感動体験



→ めてのウガンダの地は私の出身地の奄美の原風景と重なり、帰ってきたという感覚を 受けました。裸足でボロボロの服を着ている子どもたち、生活は厳しいでしょうが、 澄んだ瞳、輝く笑顔で接してくれ、笑いの絶えない交流会でした。

FH スタッフのシルバーさんから、子どもたちにとって私たち外国人が会いに来てくれたという 事は、生きる希望につながるという話を聞いて、胸が熱くなりました。出来る事から少しずつ始め、 支援の輪が広がっていくように願います。(泊さゆみさん:2014 ウガンダキャンプ参加者)







ラテンアメリカの国々では毎年盛 大にカーニバル (お祭り) が実施され ます。最大のものはブラジル・リオデ ジャネイロのサンバ・カーニバルでしょ う。カーニバルは元来カトリック教会 の「謝肉祭」のことで、復活祭前の 40日間肉を断ち禁欲的な生活を送る 前、肉食に別れを告げるための宗教 的儀式とされています。

熱狂の中での弊害

ボリビアのオルロで行なわれるカー ニバルは、リオやペルー・クスコのイ ンティ・ライミ祭りと並ぶ南米3大祭 りの一つで、ユネスコの無形文化遺産 です。元々は先住民族であるアイマラ 族やケチュア族が持っていたパチャマ マ(地母神)信仰がカトリックの聖母 マリア信仰と結びつき、この創造の母 に捧げるものとして始まったとされ、 またスペイン人侵略者を悪魔 (ディア ブロ: diablo) と重ね合わせ、恐れを 持って踊りに表したと考えられていま す。人々はこの期間とその前の数週間 は水掛けのいたずらをします。見知ら ぬ人に対して、通りがかりに水鉄砲や バケツなどで水をかけたり、水を詰 めたゴム風船を投げつけたり、泡スプ レーを吹きかけたりします。いたずら を楽しむ程度ならいいのですが、様々 な弊害があります。

以前ペルーでアパートの数階上か ら投げた水風船が頭部を直撃したこ とが原因の死亡事故がありました。ま たパレードの混雑を悪用してスリや泡



ボリビア多民族国 駐在 小西小百合

スプレーで目つぶしをした間に貴重品 を盗むという事件がボリビアでも急 増しています(私もこの手口でデジカ メを盗まれました)。またボリビアで は各地で同様のパレードが行われ、コ チャバンバでは祝日の最終日に公共 機関の多くが機能停止状態になりまし to

治安悪化と散財

この行事は観光産業として莫大な お金が動く時であり、過度の飲酒によ る急性アルコール中毒の他、ケンカ、 交通事故、性犯罪、盗み、強盗など 様々な犯罪が増加し治安が悪化する 時期でもあります。1年の収入の大部 分を高額な衣装代に散財する人々が 多くいる一方、自国の貧しく苦しんで いる人々には手を差し伸べることをし ない人々のなんと多いことか…。元来 の信仰的な意味とは裏腹な事が毎年 繰り返されている、という現状を人々 が真摯に受け止めて"まず自分から変 わろう"と決心し行動に移して下さる ことを願っています。

「善を行なうことと、持ち物を人に 分けることとを怠ってはいけませ ん。神はこのようないけにえを喜ば れるからです。| (聖書)





を提供していただいていますね

を自分たちの中で関連付けることをすることにあります。 ができているように思います。学 生にとって、実際に海外で活動を している団体のトレーニングに参 加する意義は大きいと思います。

に節食ランチ(ご飯とお味噌汁) 機上も設置しています。

たちに与えるインパクトは?

○ JIFHのファシリテータート ラムで、今年度はFHフィリピンで レーニングの場として毎年、大学 実習をさせて頂く予定です。その 狙いは、1 現地滞在(訪問ではな △ 本学は社会の様々な痛みに具 く)を通して現地の文化と社会の 体的に仕える人材を育成していま 理解を深めること2クリスチャン 送り出されましたね す。飢餓と貧困の問題に取り組む NGOであるFHフィリピンの働き JIFHの働きは、本学のビジョンを学びその活動に参加することをています。学生にとって、災害で苦 と重なり合っていますので、JIFH 通して、キリスト者として具体的な しんでおられる人々のところに出 のトレーニングの場として学校を痛みに仕える意味について学ぶこかけて、何らかの応援をさせてい 使って頂けるのはとても自然なこと3異文化生活を通して、自国文 ただくことは自然なことなのだと とだと思っています。学生たちも 化(日本文化)と自己文化(個人 本学の学びとJIFHのトレーニング の性質・性格)を客観視する体験

考える次元が変わる

参加した学生は、やはりひと回り 本学では毎年「世界食料デー」 もふた回りも大きく成長して帰っ ◎ 海外駐在員の経験から学生へ てきます。単に視野が広がると のアドバイスは

欠です。

アを被災地に積極的に います。



□ これも本学のビジョンと直結し 思います。仲間と声を掛け合って 出かけていく学生たちを心から誇 りに思っています。本学には学生 主体のボランティアセンターとい う組織があり、そのセンターが中 異文化実習やワークキャンプに 心になって募金活動やボランティ アの派遣を行っています。

を実施して募金に参加していま いうだけでなく、物事を考える次 <a>M 私がFHで学んだことはいろ す。このランチを通して、学生たち 元が変わるように思います。学生 いろありますが、その一つがサー と共に世界の飢餓と貧困を覚えには、体験を通して学んだことをバントフッドです。なかなか日本 ることを目的としています。また チャペルの時間などで報告して 語になりませんが、「什える姿勢/ 食堂には「ハンガーゼロ自動販売もらっています。参加者の報告は精神」のことです。サーバントフッ いつも新鮮です。また現場で「問じば「生き方」だと思います。そ ● 大学の異文化実習をJIFHの い」にぶつかることが大切だと考 して、そのような生き方をしてい **海外活動地で開催して頂くことも** えています。「問い」が大学での学 くためには、自分の心と向き合わ **ありますが、現地を訪問した学生** びを本物にしていくからです。大 なければなりません。マザー・テ 学では主体的な学びが求められま レサは「小さいことを大きな愛で □ 異文化実習は4週間のプログーすが、そのためには自分の殻を破ー行うしことの大切さを繰り返し教 り、社会、世界と繋がっえています。これは本当に大切な ていく経験が必要不可 教えだと思います。私たちには大 きなことはできません。小さなこ 東日本大震災では、 とでよいので、それを大きな愛で **多くの学生ボランティ** 行っていくことが大切なのだと思



今年はフィリピンでのファシリテータートレーニングキャンプは お知らせ 開催いたしません。国内でファシリテータートレーニング・セミ ナーを東京事務所にて1年を通して実施する予定です。